

(1) 結果の概要

確認項目【全16指標】の進捗		
	R 6	→ R 7
改善	1 2	1 2
悪化	1	0
変化なし	1	2
総合判断	2	2

- ・全体的に指標は改善してきているが、**一部市町村では指針外検診の実施やチェックリスト実施率が低い状況**
- ・個別検診機関の精度管理に関する**項目の一部では遵守率が低く、改善が必要**
- ・市町村、個別検診機関の**プロセス指標が一部悪化**

(2) R 6～7 年度の取組状況

- ・県HP・ラジオ等を活用した普及啓発。
- ・市町村・検診機関・産業保健関係者がん検診担当者向けの研修会（令和7年6月）
- ・個別及び集団検診機関に対して、プロセス指標をフィードバック（令和8年1月頃）
- ・職域のがん検診受診率向上の取組：がん検診の受診環境整備事業(R5～6)、**大腸がん検診の職域・市町村連携モデル構築事業 (R 7～)** 新
- ・精密検査受診率向上の取組：青森県がん検診初回精密検査費助成事業(R 6～)
- ・**弘前市に実施調査を行い、検診実施体制及び精度管理の改善に向けて検討 (令和7年10月)** 新

今後も継続

(3) 論 点

評価結果及びこれまでの対応状況を踏まえ、今後、以下の取組を実施することについて検討したい

- ①助言指導通知に加え、指針外検診実施やチェックリスト実施率が低い**市町村に個別の働きかけ**を行うこととしたい。（※年1～2回、市町村へ個別の実地調査を行うことを想定）
(⇒詳細は資料1－3で説明)
- ②**個別検診機関に対する「がん検診精度管理調査票（検診機関用）」による調査の実施**について、関係機関と検討することとしたい。
(⇒詳細は資料1－4で説明)